



ページ	質問者	質問事項
5	藤本 健太 議員	1. eスポーツへの取組は 2. 避難所となる公共施設の整備は
6	世良将生 議員	1. 鳥獣対策の現状は 2. 農業の担い手不足・農業耕作放棄地の対策は
7	中島数宜 議員	1. 稲作農地・農家の減少が続く。現状と今後は 2. 水泳による健康増進施策を展開できないか
8	福垣内邦治 議員 光本一也 議員	1. 地域公共交通の維持、確保策は 1. 地域経済応援クーポン券(プレミアム付き商品券)、今回は30枚を
9	大瀬戸宏樹 議員	1. 南海トラフ地震を想定した防災減災の現状は 2. 老人集会所等の名称変更及び名称統一を
10	竹爪憲吾 議員	1. 町内の道路ネットワークの整備は 2. 終活支援の現状は
11	水原耕一 議員	1. 大災害時の避難所の運営は 2. 移動手段に苦慮されている方への支援策は
12	沖田ゆかり 議員	1. 女性や若者への支援を 2. 持続可能なまちづくりを
13	民法正則 議員	1. 筆の里工房周辺整備事業の取り組みは 2. 地域おこし協力隊の活用を

※紙面の関係により、質疑の一部のみを掲載させていただいている。

また、分かりやすい紙面にするために、趣旨が変わらない程度の編集を行っています。

なお、熊野町議会のホームページ(<http://www.town.kumano.hiroshima.jp>)から、一般質問の全ての内容を視聴することができます。

Q eスポーツへの取組は

A 町長

目的や事業効果について研究し、他市町の動向を注視する。

【Q 1】

高齢者と若者の世代間交流にeスポーツを活用できないか。

【A 1】

他市町を参考に環境整備や地域連携、費用などを研究していく。

【Q 2】

高齢者の健康増進と認知症予防への認識は。

【A 2】

認知機能、身体的機能の維持、向上に期待ができると認識している。今後、ニーズ調査を行う。

【Q 3】

どのようなニーズ調査を行うのか。

【A 3】

熊野町高齢者保健福祉計画第10期介護保険計画の策定にあたり実施するアンケート調査にeスポーツを選択肢の一つとした項目を設け、発送する。

【Q 4】

eパラスポーツで障害者スポーツの充実を。

【A 4】

今後、実施予定のニーズ調査を分析し、住民の関心度や需要について整理していく。

【Q 5】

eパラスポーツの無料機器貸し出しを利用し、実際に体験されてみては。

【A 5】

まずは、情報収集から行う。

【Q 6】

eスポーツの大会を誘致し町おこしを考えることはできないか。

【A 6】

民間企業からの提案、地域の機運の高まりなど、今後の状況に応じ、行政関与が必要である場合は検討を行いたい。

Q 避難所となる公共施設の整備は

A 住民生活部長

熊野町地域防災計画において対応している。

【Q 1】

町の避難所におけるWi-Fiの整備状況は。

【A 1】

最大で14ヶ所の指定避難所を設けているが、いずれにもWi-Fiは導入していない。

【Q 2】

災害時は情報を必要とし、生活環境の面からも導入するべきと考えるが導入しない理由は。

【A 2】

情報検索や、動画視聴などの個人的利用が想定されること、同時接続可能台数の容量やセキュリティ対策にかかる費用住民ニーズの把握など多くの課題がある。また、小中学校の体育館など、Wi-Fiになじまない施設もあることから、導入は行っていない。

【Q 3】

避難所の非常時電源の確保状況は。

【A 3】

西、東防災交流センターは非常用の発電機を設置している。中央防災交流センター、東ふれあい館は太陽光発電システムの電源を確保している。

【Q 4】

避難所開設マニュアルは。またマニュアルを実際に利用しての訓練の実施は。

【A 4】

開設マニュアルは作成しており、避難所開設担当の職員と机上で確認を行っている。

【Q 5】

職員だけでなく住民の皆さんのが関わって訓練をする必要があると思うが。

【A 5】

自主防災組織や自治会から避難訓練について相談があれば承りたい。



録画映像



藤本 健太 議員